

表2. 解剖の種類

	系統解剖	病理解剖	法医学解剖		
			司法解剖	行政解剖(広義)	
				監察医解剖 (狭義の行政解剖)	承諾解剖
解剖の目的	人体解剖の習得	病因の解明	犯罪事件の解明	公衆衛生学的問題の解明	公衆衛生学的問題の解明
主に行う人 資格	解剖医・法医・病理医 死体解剖資格認定者	病理医 病理専門医	法医医師 法医認定医	法医・病理医 死体解剖資格認定者	法医・病理医 死体解剖資格認定者
有資格者数	8,609	2,085注1	140	10,834	10,834
年間解剖数	3,000～4,000	15,810	8,014	11,069 注2	
遺族の承諾	要	要	不要	不要	要
行う場所	大学病院	大学病院 基準を満たす病院	主に法医学教室	監察医務院等 (東京都、大阪市、横浜市、 名古屋市、神戸市)	法医学または病理学教室
費用負担	大学病院	病院	国	地方自治体	警察、地方自治体又は 個人

数値は何れも2010
年

注1: 2008年

注2: 2010年の行政解剖数